

氏名	水野 勲 MIZUNO Isao
所属 職名	人間文化創成科学研究科文化科学系 教授
学位 専門分野	博士（理学）、東京都立大学、1998年 数理地理学、経済地理学
URL	http://info.pr.ocha.ac.jp/staff/detail.asp?staff=78927827
E-mail	mizuno.isao@cc.ocha.ac.jp

研究者キーワード / Keywords

集積	agglomeration
地理的モデリング	geographical modeling
パネル調査	panel survey
地図と匿名性	map and anonymity
韓国	South Korea

主要業績

空間的相互作用モデルと「地図パターン問題」再考。日本行動計量学会38回大会（埼玉大学）論文抄録集

研究内容 / Research Pursuits

?空間的相互作用モデルを「地図パターン問題」から再考した結果を、学会発表した。?科学研究費「地図と匿名性に関する地理学研究」の研究会を2度開き、このテーマの諸外国での先行研究の検討を行った。

? I reconsidered spatial interaction model from the "map pattern problems" approach and read the paper of the results. ? My collaborators and I started the theme "Geographical exploration of the problems between maps and anonymity" and held the two semin

■ 教育内容 / Educational Pursuits

学部では、地理学の必修科目である都市と自然、地理学フィールドワークB（神田川、吉祥寺）を行った。また地理学の専門科目である、経済地理学、地域分析学演習、卒論の指導を行った。3名の卒論生の指導を行った。大学院では、博士前期課程の地域経済論で、経済地理学の最新のテキストを輪読し、検討した。修士課程2名、博士課程2名の研究指導を行った。

At undergraduate level, I delivered two lectures (Urbanity and Nature, Economic Geography), two field trips (Kanda River and Kichijoji in each one day), and one seminar (Regional Analysis). I made a guidance for three theses of undergraduate students. At

■ 研究計画

1. リスクの地域分析と社会調査の接点に関する考察 2. 地図と匿名性の関係の諸問題 3. 経路依存性を考慮した地域発展モデリング

■ メッセージ

ローカルな舞台で起こるさまざまな現象どうしを関連づけて理解し、さらにそれらの関連をより広い文脈の中に位置づけること、そして既存の人文・社会科学の理論を、地図や地域統計の分析を通して、多様性を内部に含んだ理論へと拡張すること、これらが地理学の課題としてあります。理論的な志向と、ユニークな現象への愛着を同時にもつために、私の授業が役立てばいいと思っています。